

# 日本糖尿病理学療法学会ステートメント

## 【日本糖尿病理学療法学会の目指すところ】

糖尿病は増加の一途を辿る国民病であり、理学療法士には糖尿病の基本治療である運動療法の専門家として、糖尿病チーム医療の主軸を担うことが期待されています。理学療法士による糖尿病患者への関わりは世界的にも類がなく、また、糖尿病理学療法に関するエビデンスは蓄積されていません。本学会は、糖尿病に対する理学療法の理論、介入方法および効果検証に関する学術研究の振興と発展を図り、世界に先駆けて糖尿病理学療法学の体系化を目指します。また、理学療法診療ガイドラインや成書の作成、糖尿病理学療法を専門とする人材育成への活動も推進します。

## 【糖尿病治療における運動療法の問題点と糖尿病理学療法】

糖尿病の基本治療である運動療法のエビデンスは集積されていますが、他の基本治療と比較して実施率が低く、この状況は現在も改善していません。近年、糖尿病では、特有の合併症である糖尿病神経障害の合併とその重症化によって、筋力低下などの運動器障害、バランス障害や歩行障害を来すことが明らかにされ、新しい疾患概念を形成して診療にあたる必要があります。

## 【日本糖尿病理学療法学会の使命】

理学療法士の介入により運動療法の実施率が向上することを示す必要があります。また、糖尿病患者の運動器障害に対する理学療法介入の必要性と有効性を明らかにする必要があります。さらに、理学療法は神経障害や動脈硬化性疾患（足病変や末梢動脈疾患）などの糖尿病慢性合併症に有効ですが、十分に普及しているとは言えません。内部障害を専門とする理学療法士のみならず、神経系や運動器等を専門とする理学療法士への協力を要請し、本学会はこれらの課題に取り組み、糖尿病理学療法を広範に普及させる活動を行います。

## 【本学会で対象とする主な領域】

1. 糖尿病に対する運動療法と疾患管理指導（行動科学的理論に基づく療養指導）
2. 糖尿病特有の合併症やそれに伴う身体機能ならびに生活機能障害に対する理学療法
3. 糖尿病管理に関連する腎臓や肝臓などの機能低下・障害、肥満症等に対する運動療法および疾患管理指導

## 【関連学協会との連携・協働】

下記の関連学協会等と連携・協働し、理学療法に必要な専門領域の学術（academy）を重視し、理学療法を基盤として発展させることはもとより、糖尿病の予防と治療に貢献し、患者の利益を追求します。

日本糖尿病学会、日本糖尿病協会、日本糖尿病療養指導士認定機構など